

掛け声をかける競り人と大勢の仲買人

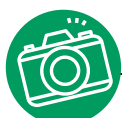


新魚市場で威勢よく

4月22日 敦賀水産卸売市場 初競り

新しく完成した「敦賀水産卸売市場」（蓬萊町）で初競りが行われました。市場内は、7時の競り開始とともに競り人の威勢のよい掛け声が響き渡り、大勢の仲買人らが新鮮な魚介類を次々と競り落としていきました。また、市場向かいに同時オープンした直売所「つるが大漁市場」にも早速市民らが訪れ、市場で競り落とされたばかりの生きのよい魚を買い求めていました。

京都府立大学宗田好史准教授による講演



「舟溜り地区」を活用

4月26日 敦賀市中心市街地活性化
市民シンポジウム

貴重な歴史的建築物や町並みが現存する「舟溜り地区」を、敦賀の賑わいの核としてまちづくりを考えていこうと、敦賀市中心市街地活性化協議会がシンポジウムを開催しました。まず市民ら約60人が参加して、市立博物館や敦賀酒造など舟溜り地区をめぐるまち歩きが行われた後、きらめきみなと館で講演やパネルディスカッションなどが行われました。

山形キャプテン（右）と大田副キャプテン

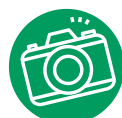


劇的勝利で県大会制覇

4月17日 オール敦賀ボーイズが優勝報告

少年野球第24回中日本大会の県予選で優勝した「オール敦賀ボーイズ」の選手、監督らが市役所を訪れ、河瀬市長へ報告をしました。大会では接戦を勝ち抜き、特に福井中学ボーイズとの決勝では、3点差を最終回2死から同点に追いつき、延長で逆転する劇的勝利を収めました。松陵中3年の山形陸キャプテンと大田祐哉副キャプテンは「県大会同様、本大会でもたくさん打って優勝したい」と力強く話しました。

新しい水引幕が披露された御所辻子山車



豪華な幕がお披露目

4月12日 山車水引幕新調完成披露会

長年の使用で傷んでいた「御所辻子山車」の水引幕が新調され、山車会館で完成披露会が行われました。今回新調されたのは、前後2面の水引幕。大きさは縦約90cm、横約2.5mで、全国でも数少ない全面手縫い刺しゅうの豪華な幕です。これで、昨年の左右の幕と合わせ4面すべてが完成しました。

この日は、新調された水引幕が披露された後、元町区より市に寄贈された旧水引幕の寄付贈呈式も行われました。なお、新しい幕を付けた山車は、9月の敦賀まつりで市内を練り歩きます。

ピチピチの稚鮎を放流



解禁をお楽しみに

4月22日 稚鮎の放流

鮎釣りシーズンを前に、敦賀河川漁業協同組合が、道口区の笹の川で稚鮎を放流しました。放流したのは、県内水面総合センターから運ばれてきた体長約8～10cmの稚鮎約52,000匹。今年は雪が少なかったため、川の水が例年より少ないということですが、放流されると元気よく川を泳いでいきました。今後、5月下旬までに木ノ井川や黒河川にも放流され、解禁を迎える頃には15～20cmまで成長するそうです。

福娘と桜の小枝を交換する来場者



想いを小枝に込めて

4月11日 花換まつり

4月1日から15日まで、金崎宮で恒例の「花換まつり」が開催され、桜の小枝の交換や花換神事、レトロカーの展示や花換時代村など、多彩なイベントが行われました。この日は、週末・青空・満開の桜と、絶好のお花見日和で、大勢の家族連れやカップルで終日賑わいました。来場者らは「花換えましょう」の言葉とともに福娘と桜の小枝を交換し、幸せを願っていました。

好みの品を買い求めるお客さん



駅前から元気を発信！

4月5日 駅前ふれあい市

今年度第1回目の「駅前ふれあい市」が開催されました。この市は、敦賀駅前商店街振興組合によって平成19年5月から始められ、今年で3年目を迎えます。この日も、朝10時のスタートと同時に大勢のお客さんが訪れ、商店街の各店舗の商品や、アーケードに並ぶ地魚や野菜などさまざまな品を買い求めていました。また駅前広場特設ステージでは、沖縄太鼓やバンドの演奏なども行われ、終日たくさんの人で賑わいました。

